

社会環境工学実験 平成21年度上期 決算報告会を開催

全社が黒字決算を達成！最終利益トップは神童建設株式会社！！

当学科では、全国的にも珍しい、プロジェクト型演習を組み込んだ学生実験を、学部3年生を対象に実施しています。これは、学生が模擬建設会社を組織し（社名も社長も決めます！）、建設工事を想定した課題に取り組み、設計や施工のプロセスを学びながら、会社の利益を競い合うものです。前期は、コンクリートと地盤の2分野のプロジェクトに取り組み、各社の最終決算報告会が7月21日に行われました。

全事業における合計利益が最も高かったのは神童建設株式会社で、約2億2千万円の利益をあげました。次いで有限会社SSK、前田建設株式会社の順で、それぞれ1億9千万円、1億7千万円の利益を上げましたが、唯一2億円以上の利益を獲得した神童建設株式会社が堂々の首位となりました。事業別にみると、地盤分野の盛土造成設計事業では神童建設株式会社が、コンクリート分野の橋梁建設事業では株式会社チョコジャンギーがそれぞれ1位を獲得しました。中でも神童建設株式会社は、コンクリート橋梁建設事業においても第2位の利益を上げており、両事業において成功を収めました。

株主総会をイメージした各社の報告に対しては、他社（株主役）からの質疑がやや少なかったものの、FEM解析を行う際に発生する解析費用に関する鋭い指摘などもみられました。今回のプロジェクトから導入された各社報告に対する他社（株主役）側からの評価制度では、どの会社も概ね良い評価を受けており、中でも冒頭から場を和ませる報告を行っていた株式会社チョコジャンギーが最も高い評価を受けました。

今期のプロジェクトで、各社ともそれぞれの課題点や失敗点が認識できたようですので、来期のプロジェクトに生かしてほしいです。

(プロジェクト型演習担当TA)



決済報告を行う学生グループの様子